

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

九州 平石

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市 荒川町三丁目5番地7
(荒川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

全国に 木育が広 がった。

教育としての木育は
学校教育として生涯
学習体系として位置
づけられるものであると
思う。

森林や木材利用について
正しく認識し適切な
管理を進めることので
きる市民の育成は国家
の課題であり学校教育
の重要な長期の視点に
立つた木育だけでなく
市民講座やワークショップ
等の短期的一過性の
取り組みを含めてさま
ざまなチャンネルを利用
した学習の機会を増加



させていく必要がある。
木材の持つ生理的
親和性(あたにかみや
肌触りの良さ)を
環境的親和性(炭素
貯蔵機能/廃棄性)として
家庭・地域・社会
を木質化していく
ことにより
人間の回復



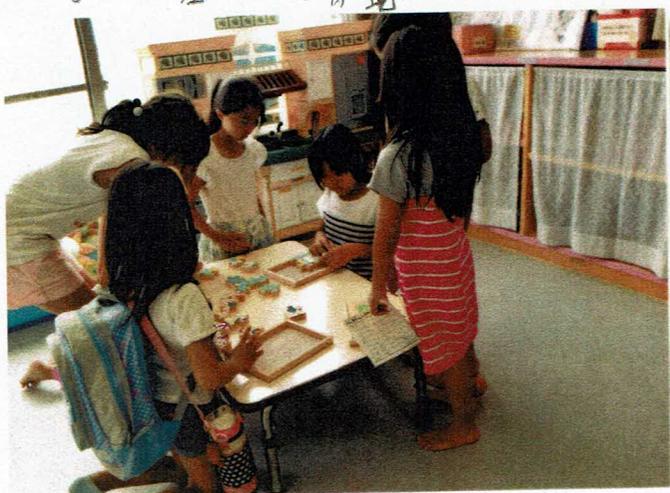
の活性化を旨
指す公益性
をもった活動
である。
木のおもちゃや木
材を使うものは
「より活動が子
どもの育成に
大きく関わり
意味のあるもの
である」と水は
木に開かれた
環境での学び
育ちを支える
視点で見れば
木育活動として
重要である。



▲ 平石児童館
の小学生
「子ども環境保
全委員会」出席の様子

2016/06/12

こうした木育の
取り組みは
地域ブランドの
向上に貢献
している。
安全・安心な
子育て環境
質の高い教育
環境・社会環境
の整備は地域の
担い手を育む
基礎を築く。
子ども環境保
全委員会
自分達でつく
ったパネルも
ばらして何分
片付くか？



旭ヶ丘児童館
へ子ども環境保
全委員会へ
出席の子ども達
パネル完成
しかりと次の
人達に渡すので贈呈へ

